

## ■福島県飯舘村の震災・原発被災の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

### 1、水道の放射性物質

県の調査で、千葉県の日分析センターに村内4ヶ所の浄水場の給水水質を依頼していたが、22日データが届いた。

滝下浄水場が430Bq浄水場ベクレル、花塚浄水場450Bq、田尻浄水場290Bq、大倉浄水場は検出されなかった。

### 2、放射線量

13日の爆発事故から10日目となる、23日朝の役場周辺の値は12 $\mu$ sV付近。

### 3、スクリーニング

希望者対象にいちばん館で実施中。22日の受検者765人。一部の人もクツ底からやや高めの数値が出ているが、全て異常なしと判定された。

### 4、医薬品、医療

県立医大から、医薬品供給と在宅診療サポートの申し出があった。

### 5、給水

昨日100t、一人あたり24リッター、8日分を供給した。補給を受けた在庫50tはJAの倉庫に保管した。

### 6、燃料

村民向けガソリンは、世帯1台限定で、1台あたり2千円、給油量約13リッター分の給油カードを行政区長を通じて交付した。

給油できるスタンドはJA そうま飯舘総合支店の1店舗で、残る3店舗ではガソリンを確保できていない。灯油と経由は北原商店と荒木屋で販売される。

### 7、食料品、生活物資

A コープは23日に営業する。しかし商品の入荷が少なく限定的である。

### 8、鹿沼市の状況

22日現在、鹿沼市総合体育館の避難村民は約320人。南相馬市など村外からの118人も同体育館に避難している。鹿沼市では、医師や薬剤師が常駐させて診療にあたっている。

また、鹿沼市から、避難の児童生徒を鹿沼市内小中高へ受け入れたいと伝えられた。

避難者から「ふるさとの情報がほしい」と要望あり、エリア内に店舗をもつヨークベニマルの協力で「福島民報」新聞が避難所に届けられる見通しである。

現地駐在村職員の交代要員として、本日3名が現地に向かう。

## 9. 今後の対応

### <決定事項>

- ・ 25日午後1時30分から「福島原発事故の放射線健康リスクについて」の講演会を「いちばん館」で開催する。講師は、長崎大学大学院教授の高村昇氏。各地区から会場まではスクールバスを巡回する。
- ・ 災害対策本部に、乾パン、缶詰などの非常食や、6 t程度の野菜などの救援物資の在庫があるため、25日午後から「いちばん館」で、一人暮らし高齢者はじめ食品を必要としている村民に配布する。